## 目標達成計画

作成日 : 平成27年 5月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>	
1	23	利用者個々が、その人らしい暮らしを続けるために、利用者のこれまでの暮らし、現在のこと、これからの暮らし方の希望等、利用者から得た情報を蓄積していけるような様式の工夫が少ない。	個々から得た情報を介護計画につなげていく ような仕組み作り	各利用者のケース記録に日々の喜怒哀楽の言動や希望・不安な言動を記録し、職員に「どうしてそういった言動になったか」といった(推測の)原因や「どうしてあげたらよかったか」をも書き留めてもらい、それらを元に半年事にフェイスシートを作り、介護計画の基とする。	12 か月	ケース記録の書き方を勉強会 にて話し合い、実践し始めてい る。	
2	2	事業所が持つ認知症の専門性等を活かして、地域とつながりを持てるような取り組みの工夫が少ない。	小学校とは、長期休暇時のイベント参加やまもる君への協力をする。また当施設保有の畑や 近隣の方々が作られた野菜を格安で販売する 直販コーナーを設けて、地域の方々に利用して頂く。	小子仪とは、技期が収けの1ハノト参加でませる     丑~のねもちまえ、また火佐気但左の何かに迷	12 か月		
3					か月		
4					か月		
5					か月		

事業所名グループホームファミリー作成日平成27年5月18日

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容				
		( 該当するものすべてに 印)				
	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った				
		利用者へサービス評価について説明した				
1 サーヒ		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした				
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した				
		その他(				
	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した				
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った				
2 自己部		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った				
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った				
		その他(				
	外部評価(訪問調査当日)	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった				
2 加拉拉		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた				
3 2 20 20 21		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た				
		その他( )				
	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った				
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った				
4 評価約		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った				
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		その他(				
	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した				
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)				
5 サーヒ		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)				
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)				
		その他( )				